

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2010-70608(P2010-70608A)
 【公開日】平成22年4月2日(2010.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報2010-013
 【出願番号】特願2008-237933(P2008-237933)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 5/18 (2006.01)
 C 0 8 L 33/08 (2006.01)
 C 0 8 L 27/12 (2006.01)
 G 0 2 B 6/00 (2006.01)
 G 0 2 F 1/13357 (2006.01)
 F 2 1 S 2/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 5/18 C E W
 C 0 8 J 5/18 C E Y
 C 0 8 L 33/08
 C 0 8 L 27/12
 G 0 2 B 6/00 3 3 1
 G 0 2 F 1/13357
 F 2 1 S 2/00 4 3 3
 F 2 1 S 2/00 4 3 5

【手続補正書】
 【提出日】平成23年9月9日(2011.9.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

アクリル重合体(A)とフッ素系樹脂(B)を含む樹脂組成物(C)からなるアクリルフィルムであって、

アクリル重合体(A)とフッ素系樹脂(B)の質量比(A/B)が $\frac{85}{15} \sim 99.9/0.1$ の範囲にあり、

前記アクリルフィルムの端面から光を入射させ、該端面に対向する反対側の端面から射出した光の輝度が同条件で測定した前記アクリル重合体(A)のみからなるフィルムの輝度より大きい、光学用アクリルフィルム。

【請求項 2】
 請求項 1 に記載のアクリルフィルムの両面又は片面に凹凸形状を付与してなる導光板。
 【請求項 3】
 請求項 2 に記載の導光板が組み込まれたバックライトユニット。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0067
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 6 7 】

〔 参考例 1 〕

アクリル重合体 (A) を 8 0 質量部、フッ素系樹脂 (B - 1) に代えてフッ素系樹脂 (B - 2) を用い、その量 2 0 質量部とした以外は実施例 1 と同様にして、厚さ 3 5 0 μ m のアクリルフィルムを作製した。このアクリルフィルムの輝度、全光線透過率、ヘーズ、破断伸度を表 1 に示す。

【 手続補正 3 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 8 】

〔 参考例 2 〕

アクリル重合体 (A) を 7 0 質量部、フッ素系樹脂 (B - 1) に代えてフッ素系樹脂 (B - 2) を用い、その量 3 0 質量部とした以外は実施例 1 と同様にして、厚さ 3 5 0 μ m のアクリルフィルムを作製した。このアクリルフィルムの輝度、全光線透過率、ヘーズ、破断伸度を表 1 に示す。

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 2 】

実施例 1 ~ 実施例 3 の結果と、比較例 2 のアクリル重合体 (A) のみからなるアクリルフィルムの結果を比較すると、フッ素系樹脂 (B) を添加することで、透光損失が抑えられ、端面 (O) の輝度が向上し、破断伸度も向上したフィルムが得られることがわかる。比較例 1 ではフッ素系樹脂 (B) の結晶化により、端面 (O) まで光を通すことができなくなった。フッ素系樹脂に代えてポリ乳酸を添加した比較例 3 のアクリルフィルムは、端面 (O) の輝度が大きく低下した。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 3 】

	アクリル重合体 (A)(質量部)	フッ素系樹脂 (B)(質量部)	ポリ乳酸 (質量部)	輝度 (cd/m ²)	輝度 * 1) (%)	全光線 透過率 (%)	ヘーズ (%)	破断伸度 (%)
実施例 1	95	5(B-1)		5810	120	92.6	0.1	3.3
実施例 2	90	10(B-2)		6440	133	92.7	0.1	5.2
実施例 3	85	15(B-2)		6430	133	92.9	0.1	4.6
参考例 1	80	20(B-2)		6330	131	92.9	0.1	6.6
参考例 2	70	30(B-2)		6190	128	93.1	0.1	12.3
比較例 1	20	80(B-2)		-	-	93.5	46.1	242
比較例 2	100			4840	100	92.6	0.1	3.0
比較例 3	90		10	3380	70	92.4	0.2	2.8

* 1) アクリル重合体 (A) のみからなるフィルム (比較例 2) の輝度を 1 0 0 とした場合の比率